

積算資料 建設資材価格指数

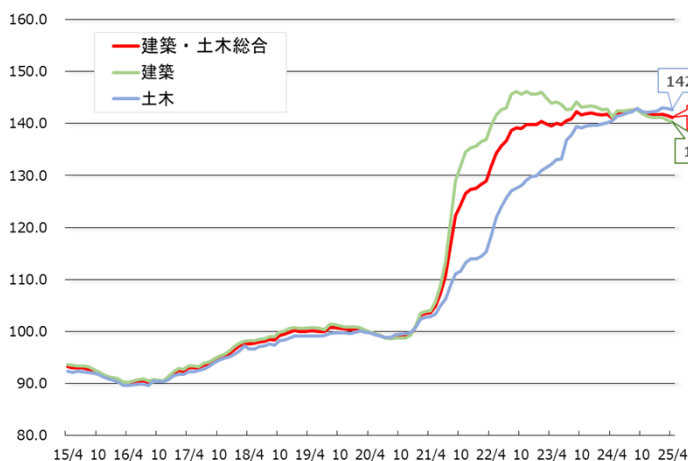


一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2025年4月調査）

全国・2020年度平均＝100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	141.2	-0.3	+0.2
建築	140.3	-0.3	-1.0
土木	142.7	-0.2	+2.2

指数の詳細な計算結果はこちら

<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	●木材：+0.1那覇	●瀝青材：-4.3新潟,-4.1札幌・仙台・広島,-3.7名古屋・高松,-3.5福岡,-3.2大阪,-2.7東京 ●普通鋼鋼材：-1.4大阪,-1.3東京・広島,-1.2高松,-1.1仙台,-1.0新潟,-0.9名古屋,-0.6札幌
建築	●木材：+0.1那覇	●普通鋼鋼材：-1.9高松,-1.8広島,-1.7新潟,-1.6仙台・大阪,-1.5東京,-1.2名古屋,-0.7札幌
土木		●瀝青材：-9.2東京・名古屋・大阪・広島,-8.9福岡,-8.7仙台,-8.6新潟・高松,-8.2札幌 ●普通鋼鋼材：-1.0大阪,-0.8広島,-0.6東京,-0.5仙台・名古屋,-0.4札幌・新潟,-0.3高松,-0.1那覇

指数集計対象資材の市況

4月調査に基づく建設資材価格指数は、瀝青材や普通鋼鋼材の価格下落を映し、建築・土木総合で前月比マイナス0.3ポイントとなり、建築、土木の両指数も前月の値を下回った。ただし、いずれも小幅な動きにとどまっていることから、足元の資材市況は一部を除き、概ね横ばいと言えそう。資材別にみると、セメントはメーカー各社の値上げを背景に、先行きは強含み推移の見込み。また、これを受けた生コンクリートも、価格引き上げの動きが各地で活発化している。その他の資材においても販売側の値上げ意向は根強い。一方、需要者側では、需給バランスが緩和していることから指値を強めるタイミングをうかがっている。「トランプ関税」により景気の先行きに不透明感が漂う中、当面、需給の価格交渉は、総じて双方の綱引きが続く見通し。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部

TEL.03-5777-8212